

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	4
学年	2年	類型	流通経済科・情報ビジネス科B類型		
教科書 (出版社)	Vivid English Communication II NEW EDITION (第一学習社)				
副教材 (出版社)	全商英語検定試験問題集1級、2級(全商英語検定研究会・実教出版)				
授業の概要	1 予習時に単語やイディオムの意味を辞書で調べて内容の概要を把握しておく。 2 授業では、予習の段階で分からなかった箇所の説明を聞いてノートを取る。 3 ペアワークやグループワークなどを通して自己表現を行う。				
授業の目標	1 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 2 情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばします。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	Lesson 1 Pictograms — Useful Signs on Streets Lesson 2 Fun with Pakkun Lesson 3 Origami Is Not Just a Piece of Paper! Lesson 4 Numbers Talk	・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばすことができる。 ・学習のポイントは、進行形・受け身、S+V+C(=現在分詞・過去分詞)、seem to ～、It is … (for A) to ～、It is+形容詞+that-節、S+V+it+C+that-節、S+V+O+O(=名詞節)などである。		
	2 学期	Lesson 5 The Doctor in the Stomach Lesson 6 Nature for the Next Generation Lesson 7 A Young Man in the Sea Who Made a Change Lesson 8 Streetcars in the 21st Century	・事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。 ・学習のポイントは、群動詞(受け身)、進行形(受け身)、「時」や「理由」などを表す副詞節、分詞構文(現在分詞)、「推量」を表す助動詞、助動詞+have+過去分詞、詞の働きをする句や節(分詞構文、接続詞に導かれる節)、関係詞(関係代名詞が前置詞をともなう形)、仮定法過去などである。		
	3 学期	Lesson 9 The Challenge of Disarmament Lesson 10 Inventing Innovative Things for Society	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめることができる。 ・学習のポイントは、have [get]+O+過去分詞、完了不定詞、仮定法過去完了、省略、倒置、分詞構文(完了形)、as if+仮定法、複合関係詞などである。		
観点別 評価	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	
	積極的な態度で言語活動に参加し、相手とのコミュニケーションを図ろうとしている。	英語で話し合ったり、意見をまとめたりすることができる。また、情報や考えなどをまとまりのある英語で書くことができる。	英語を聞いて理解し、概要や要点をとらえることができる。また、ジャンルや目的に応じて読み方を工夫しながら、概要や要点をとらえることができる。	単語、熟語、文法などについて、その意味や適切な使い方を理解している。また、英語を使う上で必要な文化的背景について理解している。	
備考	4つの観点に基づき、学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				